

Monthly いべにゆ

毎月25日発行(今月は26日発行) EVENT NEWS NO.291

発行(財)焼津市振興公社

11月号

〒425-8585 静岡県焼津市三ヶ名1550 焼津市文化センター
TEL 054-627-3111/FAX 054-628-5176
HOMEPAGE URL : http://www.city.yaizu.lg.jp/
E-MAIL ADDRESS : bunkakaikan@mail.city.yaizu.shizuoka.jp

世紀のビッグ・バンド感動と興奮のステージ

富士通コンコード・ジャズ・フェスティバル2010

今回は、アメリカのジャズ史上に燦然と輝く「ジョージ・ガーシュイン・トリオ」のトリオ「ジョージ・ガーシュイン・トリオ」という三大巨匠の名曲を集めてお届けする。これほど凄いメンバーによる公演は、焼津ではもう二度と見ることができないかもしれない。

現代ビッグ・バンドの頂点を極めたと評判の高いクレイトン・ハミルトン・ジャズ・オーケストラがいよいよ来月、待望の焼津公演を開催する。

「富士通コンコード・ジャズ・フェスティバル」に過去2回出演し、多くの聴衆から喝采を浴びてきた実力派ビッグ・バンドが堂々の3度目の登場だ。今回来日するのはオーケストラは、3人がリーダーという大変ユニークなバンド。指揮者で作曲家、ベーシストなど多彩な顔を持つジョン・クレイトンとアルト・サクソフーン奏者として名高いジェフ・クレイトンの兄弟に、ドラマーのジェフ・ハミルトンを加えた3人が全米屈指のバンドをリードする。さらにメンバーには、実力派ソリストたちが名を連ね、強い絆で結ばれている。結成から四半世紀を経てもなお色褪せない演奏にただただ驚くばかりだ。



- 演奏予定曲目 ※曲目は変更になる場合がございます。
- ラブソディ・イン・ブルー / G.ガーシュイン
- ラブ・フォー・セール / C.ポーター
- サマータイム / G.ガーシュイン
- A列車で行こう / D.エリントン

11/6 土 18:00開場 18:30開演 大ホール

全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円

好評発売中!



梅ちゃんの青いペルセウスの誘惑

梅ちゃんのステージは客席までステージを見つめ楽しんでいく加型と言われる。初めて梅ちゃんを見たのは、今から14年前。東京、新宿のこと。曲、梅ちゃんの公演を焼津でやりた

梅ちゃんワールド炸裂!!

「僕も肉体的には衰えがありますが、眼だつて老眼だし(笑)。でも、お客さんの喜んでくれる顔を見るのが大好きなんです。お客さんからパワーをもらうから頑張るんです。ステージを見たお客さんに「梅ちゃんの舞台は、花火大会をみたような感じだ」と言っていました。

今月、東京公演を見に出かけた。そこには更に一段とパワーアップした梅ちゃんがいた。彼の舞台は、お客さんと距離をとって近い。「舞台と客席の垣根をなくした、バリアフリーの式ステージ」。会場を走り回るお客さんと一体になり、文化センターの彼どこのそんなパワーが秘められているのか、不思議だ。そんな素朴な疑問を終演後、梅ちゃんに尋ねてみた。

11/23 祝火 17:00開場 18:00開演 大ホール

前売S席 5,800円 (当日6,800円)

前売A席 5,000円 (当日6,000円)

好評発売中!

「ピアノ・ベニュー・オー・ヤイブ・アンシャント・ペンダペリリ」。マイクを通した、たどたどしいフランス語。彼らの笑い声と関係者の拍手が大ホールを震わせた。9月26日に開催した「スタッフ・ペンダペリリ」焼津公演の出来事である。先月号の楽屋裏に書いたが、彼らの焼津公演に合わせ、楽屋口にて椅子対応の昇降機を設置し、そのお披露目式を実施したのだ。3日前、通訳の手配を確認すると担当者から思わぬ返事が返ってきた。「館長、彼らには英語は通じません、フランス語です」「エエーッ。英語じゃないの?」。最初の挨拶だけじゃなく、少し英語がしゃべれるところを見せようと一夜漬けで勉強したのが悪かったのか。机の上に広げた「夜漬英会話」の表紙のイラストがむなしく笑っていた。当日、なんと挨拶だけ話せたが、後は全てボデーランゲージ。自分の名前も「ミツちゃん」というのが一杯も彼らひとりひとりガツガツと握手をして無事楽屋入りとなった。ヤレヤレ夜の公演は、大盛り上がり。彼らの生き生きとした想い、そしてほほほの熱いコングラチュレーションが響き渡った。アンコールでは彼ら8人と観客が一体となり、大盛況で焼津公演が終了した。文化センターから送迎バスで帰る前、焼津のおみやげにとプレゼントしたピンクの手ぬぐいを頭に巻いたリーダーのリックキーが僕に声をかけてくれた。「ありがと、みつちゃん。感謝の言葉を聞いた瞬間、開催決定から公演までのことが走馬灯のように頭の中を巡り、思わず涙がこぼれた。言葉なんかない。僕は彼らから極上のスマイルと大きなプレゼントをもらった。「メルシー、リックキー。メルシー、スタッフ・ペンダペリリ」。(勉)

楽屋裏

「ピアノ・ベニュー・オー・ヤイブ・アンシャント・ペンダペリリ」。マイクを通した、たどたどしいフランス語。彼らの笑い声と関係者の拍手が大ホールを震わせた。9月26日に開催した「スタッフ・ペンダペリリ」焼津公演の出来事である。先月号の楽屋裏に書いたが、彼らの焼津公演に合わせ、楽屋口にて椅子対応の昇降機を設置し、そのお披露目式を実施したのだ。3日前、通訳の手配を確認すると担当者から思わぬ返事が返ってきた。「館長、彼らには英語は通じません、フランス語です」「エエーッ。英語じゃないの?」。最初の挨拶だけじゃなく、少し英語がしゃべれるところを見せようと一夜漬けで勉強したのが悪かったのか。机の上に広げた「夜漬英会話」の表紙のイラストがむなしく笑っていた。当日、なんと挨拶だけ話せたが、後は全てボデーランゲージ。自分の名前も「ミツちゃん」というのが一杯も彼らひとりひとりガツガツと握手をして無事楽屋入りとなった。ヤレヤレ夜の公演は、大盛り上がり。彼らの生き生きとした想い、そしてほほほの熱いコングラチュレーションが響き渡った。アンコールでは彼ら8人と観客が一体となり、大盛況で焼津公演が終了した。文化センターから送迎バスで帰る前、焼津のおみやげにとプレゼントしたピンクの手ぬぐいを頭に巻いたリーダーのリックキーが僕に声をかけてくれた。「ありがと、みつちゃん。感謝の言葉を聞いた瞬間、開催決定から公演までのことが走馬灯のように頭の中を巡り、思わず涙がこぼれた。言葉なんかない。僕は彼らから極上のスマイルと大きなプレゼントをもらった。「メルシー、リックキー。メルシー、スタッフ・ペンダペリリ」。(勉)



ばんばひろふみ ポカスカジャン

12/5 18:00開場 18:30開演 小ホール

～おやじフォーク・フェス～

全席指定 3,800円

好評発売中

開館25周年記念 「おやじフォーク・フェス」

おやじが熱い!今年の12月!!

おやじフォーク大集合

第1回フォークキングは誰の手に?!

エントリーしたアマチュア出演者15組がフォークソングを演奏し、ばんばひろふみさん、ワハハ本舗のポカスカジャンなどの審査員が各賞を決定いたします。

懐かしのフォークソングのカバー曲の他、参加者自身によるオリジナル曲など、焼津ならではのフォーク祭りをお楽しみください。

※おやじフォーク大集合の参加応募は締め切らせていただきました。多数のご応募ありがとうございました。

12/5 11:30開場 12:00開演 小ホール

全席自由 500円

好評発売中!

特別協賛/焼津さかなセンター